ROBA NEWS

2011.12.16
第119号

地域バス調査隊が行く！　福井～清水～越廼

「まった」とくれば「せいこ」だー！

＋

＝

撮影／清水省吾　●関連記事は４・５ページ

☆★活動報告★☆

１１月３日　福井市環境展
４日～５日 LRT 都市サミット（富山市）
１２日～１３日
中部地区地方鉄道サミット（桑名市）
全国バスマップサミット（弘前市）
２０日
例会・地域バス調査隊（福井市・越廼）
１２月１６日　ROBA 例会・第９２回理事会

☆★今後の予定★☆

１月中旬　　臨時理事会予定
１月２０日(金)　　例会・理事会
１月２８日（土）～２月１日（水）
NPO パネル展（AOSSA　５階）

ゆうじんの部屋　書籍紹介

環境規制の政策評価
（副題）環境経済学の定量的アプローチ
有村俊秀・岩田和之（共著）
上智大学出版　１８００円＋税

久しぶりに読み応えのある本に出会った。これまで、数式や理論で語られることが多かった環境経済学を、実際の世の中の数字を代入して政策効果を証明している本である。環境税、省エネ法、１０００円高速などホットな話題が俎上に上がる。ただ、前半の簡単な経済学理論の説明で、きっちりと規制的手段に対する税の優位性（規制する側が民間のコスト構造を知らなくても民が削減コストの少ない施策から順番に　自動的に採り入れていくこと）も書かれている。

また、事後評価においては相関分析など統計的手法で環境政策の効果を分離する手法も紹介している。大学・大学院の環境経済の教科書、環境政策を訴えたいシンクタンク、政治・行政に携わる人々におすすめしたい。

しかし、このような実証的な研究が、上岡直見氏を除いては、政府からの委託を受けた研究者以外から出てこないことは残念である。

東海市会員　　美濃部　雄人 Minobe　Yujin

LRT 都市サミット富山２０１１に参加して

内田佳次

昨年広島市でスタートした LRT 都市サミットの第 2 回目の開催です。ちなみに第 3 回は来年熊本市と決まりました。この LRT 都市サミットは全国路面軌道連絡協議会（全軌協）と全国路面電車愛好支援団体が中心に開催している全国路面電車サミットに対して、LRT に軸足を移した行政版の全国大会といっていいと思います。

さて、全国路面電車サミット（これまで 10 回開催）を見てきた私としては、“やはり行政だな～”と思える大会でした。受付、会場設営、懇親会の段取り（料理の質も）などの対応が豪華でそつがなくそう感じた次第です。

私は久しぶりの富山市訪問なので、サミット前に富山ライトレール[ポートラム]の試乗、環状線[セントラム]の試乗やまちなかの様子を視察しました。富山ライトレールは相変わらず賑わっていてすっかり富山の街になじんでいる感じでした。セントラムは初めての体験です。この LRV はポートラムと同型なので違和感なく乗車できます。中心市街地のグランドプラザも LRT 都市サミットのプレイベントが行われた直後ということもありますが、たいそう賑わっていました。いくつかの集客施設をまちなかに集め“にぎわい”を作り出そうという意図が見て取れます。便利なまちなかになりつつあり、これからが楽しみです。福井のまちなかとはえらい違いです。

ところで、サミットの資料を見て感じたのは、富山市の広報紙の表紙には常に LRT を軸とした都市交通網が記載されていて、その他食文化・観光などと絡んで「行きたくなる街」として描かれていることです。交通政策を重要視していることがこのことからもよくわかります。

富山市の広報紙　左が環状線、右は富山港線の LRV

（番外）

LRT 都市サミットの 11 月 4 日初日終了後、行政の参加者を中心に懇親会が開催されました。そこでわかったのですが、この 4 月に着任された神田昌幸副市長はギターの名手なのです。さらに森市長は素敵なサックスを奏で、他の市職員とともにバンドを編成してポピュラー音楽を演奏していました。

全体的に余裕が感じ取れ、どこかの目いっぱい市政と違いゆったり感が味わえました。

左が神田副市長　右は森市長

第１０回中部地区地方鉄道サミットon北勢線に参加して

内田　佳次

私は北勢線３回目の体験ですが、今回は中部地区のサミットということで事前の情報があったり、予め資料で確認する時間もあり有意義なサミットでした。

（基調講演する小嶋光信氏）

基調講演として、両備ホールディングス代表取締役会長の小嶋光信氏のお話がありました。内容は両備グループの歴史、企業哲学の話に始まり、これまで津エアポートライン、和歌山電鉄、中国バスなど地域公共交通の再生事業に携わってきた経緯や再生ポイントとして６つを掲げ説明がありました。その中心となるのは地域・行政の熱意であると力説しておられました。また、運営は三セクとせず１００％両備の出資による運営ということも意思決定の早さにつながったのではないかと思います。

（サミット会場近くの小料理屋で）

また、久しぶりに川上教授と三寺さんの福井大学コンビとともに時間を過ごすことができたことに充実感がありました。さらに、今回驚いたのはこの４月から愛知県東海市の副市長として着任している美濃部さんにお会いできたことです。電話では話をしていたのですが、以前と全く変わらない相変わらずの様子で安心しました。考えてみると東海市と桑名市は近いもんね！

福井で ROBA という絆でご縁があった方と久しぶりに会って懐かしい話ができるのは本当にうれしいことです。サミットの懇親会終了後に、本年新規会員になられた井ノ部さんとともにホテル近くの小料理屋でお互い好きなことを言い合いながら普段のうっぷんをぶつけ合いました。

「あぁ～、すっきりした！」　（内田）

（左はサミット終了後の懇親会の様子）

清水グリーンライン・清水プラント３バス停　デマンドバス『ほやほや号』。タクシーです。越前海岸越廼地区蒲生に到着。杢田商店へ

地域バス調査隊報告『清水グリーンライン編』　　【　調査隊員その１　清水　省吾　】

11 月 20 日､地域バス調査隊に参加し､清水グリーンラインに試乗してきましたのでご報告致します。

福井の観光はやはり『食』。清水グリーンラインとほやほや号を乗り継いで越廼海水浴場バス停前の『まつ田』に、解禁間もない越前ガニを食べに行ってきました。

清水グリーンラインは、福井市の『全域交通ネットワーク』施策による取り組みにより、それまで本数の極めて少ない路線がばらばらに運行されていた清水地区のバス路線を再編したもので、概ね 30 分間隔運転の清水グリーンラインを開設し、清水地区の大型商業施設『プラント３』を交通結節拠点として福井駅前との間に幹線交通を設けたもの。プラント３から先は、各路線は直通運転を縮小し、プラント３でデマンドバス『ほやほや号』に乗換えるシステムとしています。なお、この『ほやほや号』は乗車 1 時間前までに予約を入れることになっています｡清水グリーンライン運行開始は 11 月 1 日でした。

調査隊実施当日、朝 8 時 40 分に内田会長、清水の 2 名が福井駅前バス停で落ち合い、内田会長が携帯電話で『ほやほや号』乗車の予約を、バス停に記載された連絡先に入れ、8 時 55 分に清水グリーンラインのバスに乗車。途中、日赤病院で林さんが合流し、清水プラント３に向かいました。バスは日野川を超え清水地区へ｡グリーンハイツを縦貫し､工業団地をかすめて清水プラント３に到着｡運賃は 300 円｡バスの後ろにタクシーが｡よく見ると『ほやほや号』というシールが張られていました｡乗車は我々 3 名だけ｡越廼地区蒲生に向かいました。運賃は 1 名だと 400 円ですが、2 名以上乗ると 100 円割引。これまで、公共交通が不便で、タクシーに乗ると、福井駅前から蒲生まで 8000 円かかっていたとのこと。これが 600 円｡『清水グリーンライン』と『ほやほや号』を使いこなしたら非常に安くて便利なので、清水地区・越廼地区の皆さんには使い方を覚えて、是非、使いこなしてほしいと思いました。

蒲生に到着し、カニの並ぶ杢田商店で飲食部門の場所を確認し『まつ田』へ。『セイコがに丼』を注文。ごはんの上にセイコガニ（ずわいがにのメス）の内子と外子と身が山盛り。獲れたてを地元で食べるのは何にも勝る贅沢。非常に満足しました。是非、県外の皆さんにも『清水グリーンライン』と『ほやほや号』を利用して、越前ガニを食べに来て欲しと思いました。帰路は、食事前に予約していた『ほやほや号』でプラント３へ。ここで買い物をして再度『ほやほや号』で道守高校横のゲンキーへ。ここで運動公園線に乗換えて帰宅しました。福井ならではの美味しい地域バス調査でした。

杢田商店で聞いて『まつ田』まで移動　　海の見える部屋にて昼食を採りながらの例会　　お薦め！『セイコがに丼』２５００円

平成 23 年度第 2 回地域バス調査隊報告

【　調査隊員その２　林　博　】

「まっ田」なら、やはり「せいこ」丼。私は逆らって、ずわい丼。昼食前に、帰りのほやほや号の電話予約もすませて、安心して昼食。バスなのでもちろんアルコールＯＫ。それで満足しないのがＲＯＢＡ調査隊も後半に突入。店の前が「越廼海水浴場」バス停なので、店の駐車場でタクシーが、いや、バスが待っていてくれた。

・「越廼海水浴場」12：33 発⇒「清水プラント３」13：10 着

※料金は事前に２人以上で予約すると 100 円割引で 400 円が 300 円に。３人運んで 900 円。なお、参考資料として記録しているらしいバスのメーターは、5,860 円となっていた。

・「清水プラント３」13：35 発（ほやほや号茱崎）⇒

「ゲンキー若杉店」14：17 着（実際は 13：45 に到着）

※本来なら「若杉２丁目」まで行って折り返してから、帰りの便で停まるのだが、乗客の都合を優先して、行きの便で停めてくれたため、13：45 ごろに到着した。料金は 1 人 200 円が 100 円割引で１人 100 円、３人で 300 円。同様にメーターは 2,000 円だった。

バス停は期待した店の軒先ではなく、残念ながら駐車場内の端にあり、屋根もなく、路線バスも停まらず、写真のように目の前を通り過ぎて行ってしまった。再び買い物と、「運動公園２丁目」バス停周辺の調査を実施したが、整備された様子はない。

・「運動公園２丁目」14：12 発（ 70 運動公園線）⇒バス内で解散

※各自、最寄りのバス停で降車して、調査は終了。

便数増で、デマンド方式に慣れれば、快適に利用できることを実感！

【　調査隊員その３　内田　佳次　】

１１月２０日（日曜日）、ＲＯＢＡ１１月例会の行事として地域バス調査に出かけました。行き先は、清水グリーンラインとそれに乗り継ぐデマンド交通の「ほやほや号」の試乗です。参加者は、清水、林博、内田の３人とさみしかったのですが、大きい収穫がありました。

大発見は「ほやほや号」がタクシーだったことです。事前の電話予約に基づいて、既定の路線の順路で走行するのですが、乗り継ぎ地のプラント３に着いた時にはすでに「ほやほや号」は、私たちを待ち受けていました。快適に越廼までの旅ができました。料金も割安ですよ！但し、１時間前には電話予約が必要です。人数が５名以上だと、ライトバン型のタクシーを用意するとのこと。

また、１１月２５日福井新聞の朝刊に高浜町のオンデマンドバスの紹介がありました。実証実験ですが、利用者が予約した場所から目的地まで運行・時間の制約も少ないとのこと。この記事によれば、運行には時刻表やルートはなく、利用者の要求に応じ最適なコースをたどるものと思われます。「ほやほや号」の定時、路線運行のデマンドとは違い融通性が高くなっているようです。東京大学が開発した『コンビニクル』というシステムを利用しています。

作／漆崎　耕次

みゆきちゃんのおでかけ日記 Part8

秋の木の実を収穫しました♪

▲ウラジロノキ（バラ科 ナナカマド属）落葉高木
秋が深まると赤く熟し房ごと落下する。

▲ウラジロノキ（5月）
大きくなると樹高は20mにもなります
が、足羽山の木はそこまで大きくなかった。

はやくも「冬」という季節に突入しました。（写真を取った頃は秋だったのに…。）おでかけというほどではありませんが、自然が大好きな私は 1 年に何回か足羽山にて、植物観察＆秋の木の実収集を行います。どんぐり収集も大好きなのですが、ドングリは保存までにひと手間かけないと「いも虫」が中から出てくるので大変です。

さすがに大人になったので“おままごと”はしませんが、赤い実や変わった実は創作物の部品として使いたいので、よくお世話になります。

下の写真は「ムクロジ」という木です。

▲ムクロジ（ムクロジ科 ムクロジ属）落葉高木

▲ムクロジの実

▲水をつけてこすったよ

ムクロジは秋になると果実が熟し、果実の中に黒い種子１つ入っています。果皮はサポニンという物質を含んでいて界面活性作用で泡立つので、その昔は石鹸の代用とされていたそうです。水を含ませて石鹸の要領でこすってみると……あれ～！本当に泡立ったー（*^_^*）それと、黒い種子は堅くて光沢があるので、数珠や羽根突きの玉に使われていました。昔からの知恵って凄いね♪

そして、日本の四季っていいな（￣ｗ￣）とつくづく感じました。

編集後記　・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「交通の空白地域対策としてデマンドタイプのバス・タクシーが各地で行われていますが、地域によって違いもあり、検討の余地ありです。」

林（変集長）

「１８日（日）大野で映画「ミツバチの羽音と地球の回転」シンポジウム「大野から見た若狭・福島」へ出かけます」

事務局　特定非営利活動法人
ふくい路面電車とまちづくりの会（ＲＯＢＡ）
９１０－８０３１
福井市種池１丁目１９０５－３
ＴＥＬ：０７７６－２５－７９６８
ｅ－mail　：　roba@mbh.nifty.com
ＵＲＬ：http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/